

摺上川ダムの洪水調節効果

～河川の氾濫による被害から下流域の人々を守ります～

洪水の概要

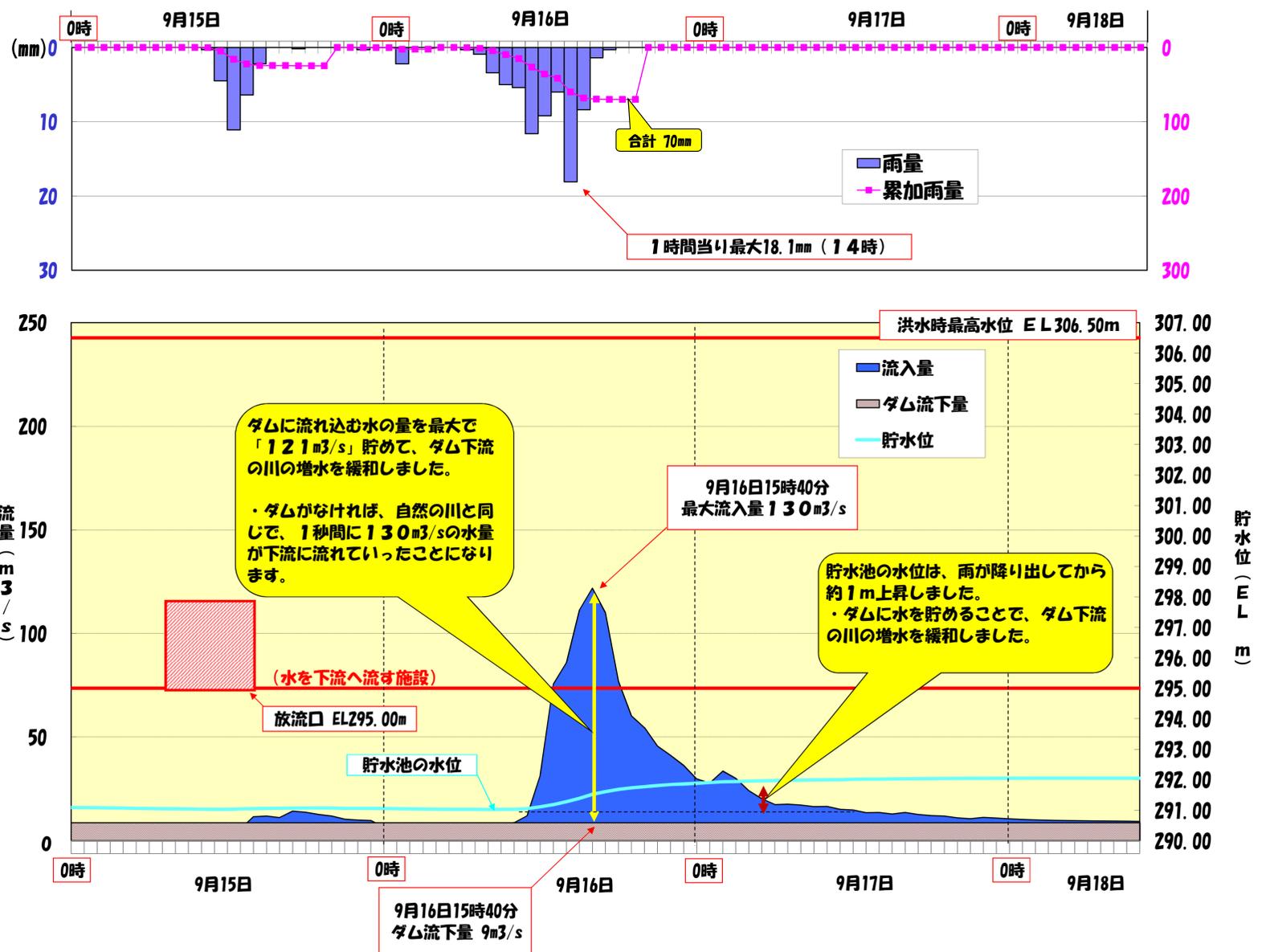
台風18号の影響により摺上川ダム流域では、平成25年9月16日5:00頃から雨が降り出し、9月16日17:00までの累加雨量は70mmに達しました。この降雨により摺上川ダムへ流れ込んだ水の量は9月16日15:40にピークに達し、洪水量（毎秒100m³）を超える毎秒130m³を記録しました。

摺上川ダムの効果

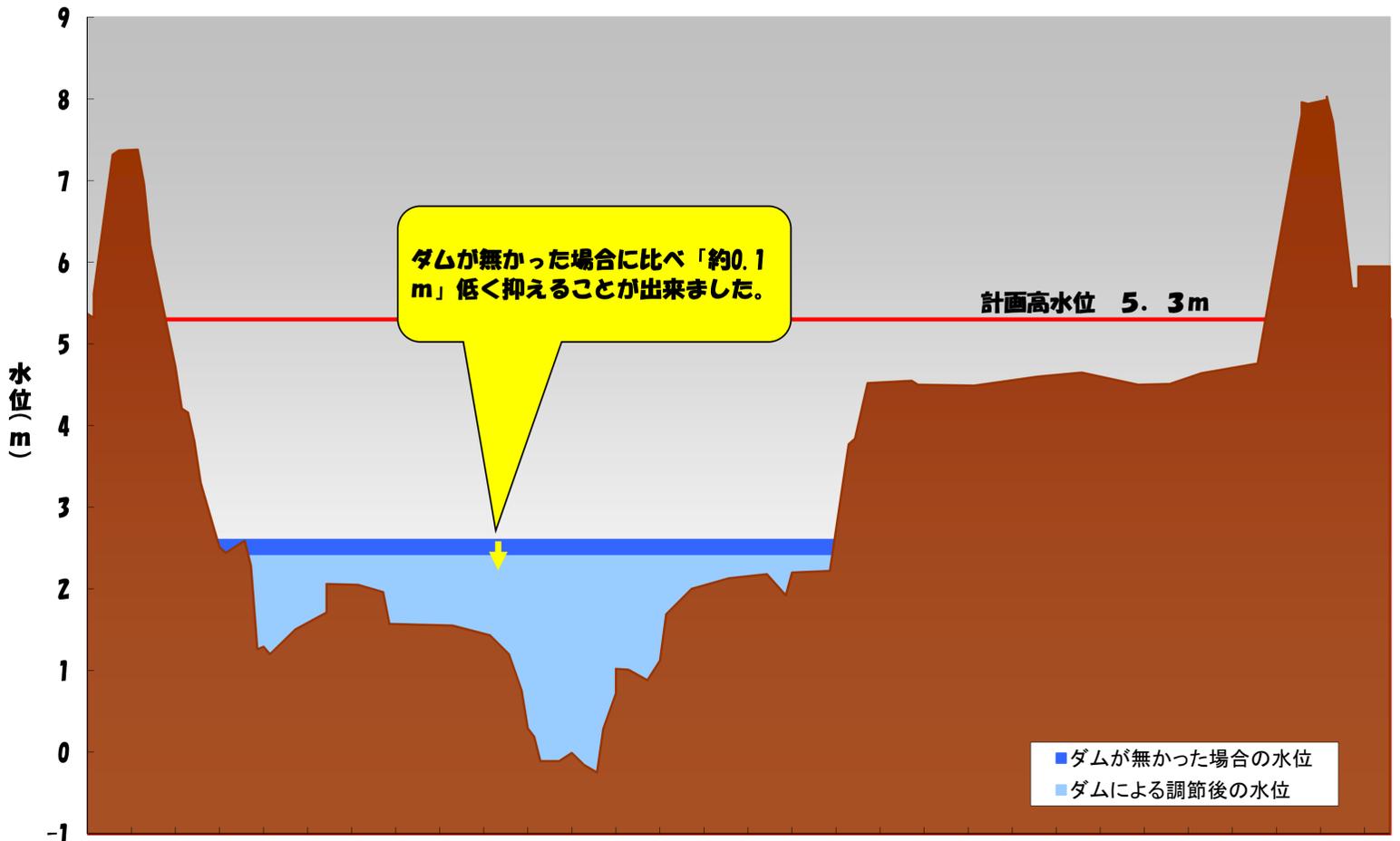
今回の洪水でダムへ流れ込んだ水の量は最大毎秒130m³に達しましたが、下流河川に流した水の量は毎秒9m³に抑えられ、「毎秒121m³」の洪水をダムに貯水することが出来ました。この結果、摺上川ダム下流部の瀬ノ上地点での河川水位は、ダムが無かった場合に比べ約0.1m低く抑えることが出来ました。

洪水調節のグラフ

～H25. 9. 16 防災操作図～



瀬ノ上地点でのダム効果



瀬ノ上 ダムによる防災操作の効果